

横浜ウォーター中期計画2016

～信頼されるパートナー企業として～

2014年度（H26）～2016年度（H28）

2014年3月

横浜ウォーター株式会社

【 目 次 】

- ・中期計画2016策定に当たって
- ・中期計画2016の経営方針
- ・中期計画2016 事業の方向性
- ・経営基盤強化の取組み推進

中期計画2016策定にあたって

横浜ウォーター(株)は、横浜水道が長年にわたり培った技術・ノウハウをビジネスに活用し、国内外の水道事業が抱える課題解決に貢献するとともに、水道局の財政基盤を強化することを目的に、2010(H22)年7月に設立されました。

会社創設期というべきこの4年間に、国等の動向と連携しながら、水道事業に関わる幅広い知見を活かして国際案件の着実な実績を積み海外での水道事業体支援に貢献すると同時に、横浜市と一体的な立場を利用した国内事業体支援業務を開拓するなど当社の強みを活用したビジネスモデルを構築し、着実な事業実績をあげてきました。

一方で、組織的・財政的基盤の強化、ニーズの多い上下水道一体案件等への対応拡大、公民連携の一層の推進など、今後に向けた課題や当社に対する期待も明確になっています。

「中期計画2016 ～信頼されるパートナー企業として～」において、横浜ウォーター(株)は民間企業や国等の関係機関と連携し、上下水道に係る課題解決に取り組みながら、より多くの企業や関係機関から信頼され、パートナーとして選ばれる企業を目指していきます。

これまでの成果

- ① 設立年度から海外でのコンサルティング事業・技術プロジェクトの実績を蓄積
- ② 国内外の事業実績を通じた国等の関係機関や事業者との信頼を構築
- ③ 横浜水ビジネス協議会会員をはじめとする市内企業等との連携事業を実施
- ④ 国内の被災地における事業者の経営支援業務を実施

期待される役割の認識

民間企からの期待

- ◆ 公民連携推進役としての積極的な取組
- ◆ 海外における企業連携事業の形成・牽引
- ◆ 事業運営ノウハウ提供

事業者・国からの期待

- ◆ 事業者の立場での業務支援
- ◆ 自治体間連携推進
- ◆ インフラ輸出における官民連携体制の強化

横浜市からの期待

- ◆ 市内経済活性化、水ビジネス協議会との連携強化
- ◆ 市業務の市民サービスや業務効率性の向上
- ◆ 成長・発展、利益還元

中期計画2016 経営方針

水ビジネスの信頼できるパートナーとしての『横浜ブランド』の確立へ

「中期計画2016」では、質の高い仕事を通じて「横浜ブランド」を一層確かなものとし、より多くの企業・関係機関・事業体からパートナーとして信頼される企業を目指します

【売上高推移】



中期計画2016 事業の方向性

～公・民のパートナーから信頼される企業として実績を構築～

海外大型プロジェクト
の本格的始動・事業
運営参画

下水道分野への
積極的進出

市内企業等との
連携強化

水ビジネスの
信頼できる
パートナーとしての
『横浜ブランド』
の確立へ

国内上下水道事業
体運営支援の展開

経営基盤の強化の取組推進

組織体制と財政基盤を強化

経営基盤強化の取組推進

➤これからの展開

民間経験豊富な人材の登用などにより営業力・技術力を強化します。また、自主事業の拡大による売上高の増加や財務・コスト管理の徹底により経常利益を確保するとともに、将来の成長・発展に向け適正かつ的確な投資を行っていきます。

- 民間登用拡大や横浜市からの派遣による人材確保と社員のスキル向上による営業力・技術力の強化
- 自主事業拡大や財務・コスト管理の徹底による経常利益の確保

➤アクション・プラン推進体制

